



クロスボウの所持は許可制になります

サイバーセキュリティ意識の向上を

サイバー空間では、犯罪の新しい手口が発生し悪質化しています。一人ひとりが次のことに気をつけましょう。

【犯罪の例】

- ▶ パソコンのデータが暗号化され、暗号化の解除を条件に金銭を要求する
- ▶ 銀行や宅配業者を装ったSMS（ショートメールサービス）などを送信してサイトへ誘導。サイトでは、個人情報やクレジットカード情報を入力させ、情報をだまし取る

【被害防止対策】

- ▶ 不審なメールのリンクやファイルは開かない
- ▶ リンク先のサイトに個人情報などを入力しない

県警のTwitterで被害防止情報を発信しています。



警察署からの安心安全に関わる情報を皆さんにお届けします。

■クロスボウの所持禁止および許可制の導入

銃刀法が改正され、3月15日からクロスボウの所持が原則禁止となり、所持許可制になります。

クロスボウの所持は今後、スポーツ競技などの用途に限られます。所持者は3年に一度の講習を受けることが義務付けられ、不法に所持した場合は罪に問われます（3年以下の懲役または50万円以下の罰金）。

規制開始前にクロスボウを所持している人は、規制開始から6カ月以内に次のいずれかの措置を講じてください。

- ① 許可申請
- ② 廃棄
- ③ 適法に所持できる人に譲渡

なお、廃棄を検討している人は、最寄りの警察署に直接持ち込むことで無償で処分することが出来ます。

交番だより

金ヶ崎交番
☎ 44-5227
永岡駐在所
☎ 44-3310

子育て支援課

金ヶ崎町西根鍵水 53



☎ 42-4611 FAX 44-4337

e-mail : kosodate@town.kanegasaki.wate.jp



子育て広場

子育て支援課からのお知らせ

特定不妊治療費助成事業のお知らせ

町は、医療保険が適用されない特定不妊治療や特定不妊治療に係る男性不妊治療を受けた夫婦（事実婚含む）の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

■対象となる治療

- ▶ 特定不妊治療（体外受精、顕微授精）
- ▶ 男性不妊治療（精子採取手術）※特定不妊治療に至る過程で行う男性不妊治療のみ

■助成対象者 岩手県が実施する「不妊に悩む方への特定治療支援事業」による助成金（以下、「県助成金」という）の交付決定を受けていて、金ヶ崎町に住民登録している人

■助成期間および回数 初めて助成を受ける際の治療開始時における妻の年齢によって助成回数が異なります。

- ◇40歳未満：43歳になるまで一子ごとに6回
- ◇40歳以上43歳未満：43歳になるまで一子ごとに3回

■助成額 夫婦一組につき、助成対象医療費から県助成金を除いた額と次の助成限度額を比較して少ない方の額。

■助成限度額（1回の治療につき）

- ① 特定不妊治療
- ▶ 治療ステージのうち、C（以前に凍結した胚を解冻して胚移植を実施）およびF（採卵した卵が得られない、または状態のよい卵が得られないため中止）の場合：上限5万円
- ▶ その他の治療ステージの場合：上限10万円
- ② 男性不妊治療：上限5万円

■申請方法 県助成金の交付決定を受けた後、子育て支援課窓口で速やかに申請してください。

■申請に必要な書類 申請書（請求書）、印かん、預金通帳（振込先確認のため）、県助成金の交付決定通知書の写し、受診等証明書の写し、領収書原本、事実婚関係に関する申立書の写し（事実婚の場合）※申請書は町ホームページから取得できます。



町ホームページ

町立図書館

金ヶ崎町西根西地藏野 5

☎ 41-1900 FAX 44-5661

開館時間：10：00～18：00
※開館日・時間変更の場合あり

図書館だより

図書館からのお知らせ

information

▶平谷美樹「図書館小説」

■期間 3月30日(水)まで

■内容 映画化に向け撮影が始まった平谷美樹さんの「図書館小説」は、金ヶ崎町立図書館のために書き下ろされ、金ヶ崎町立図書館だけで読める小説。『しおり』『ナイトライブラリー』『図書館嫌い』の3部作全てに触れることができる貴重な機会です！

▶蔵書点検に伴う休館

2月21日(月)～26日(土)は蔵書点検のため休館です。

▶感染症拡大防止のため休館日・開館時間・利用方法・展示内容等変更の場合があります。ホームページ・ツイッター・メールマガジン等でご確認ください。



ホームページ



ツイッター



としょかんメール

☆セカイ本棚こども企画展「はじめまして！中国」

■期間 4月20日(水)まで

■場所 こども列車コーナー

友好都市の一つ、中国長春市と金ヶ崎町のつながりを紹介するとともに、中国の昔話から現代のお話まで絵本を中心に展示。また、中国の作家で初めて国際アンデルセン賞を受賞した曹文軒さんの作品を紹介するコーナーも設置しています。

この機会に、中国の伝統や文化と共に「今の中国」にも触れてみませんか。



広報かねがさきの読者

私の住んでいるまち、守谷市をご紹介します。

守谷市は茨城県南部に位置し、2月2日に市制20周年を迎えました。東京と筑波を結ぶ「つくばエクスプレス」が開通したことで都市への交通が便利になり、大型ショッピングモールも増えとても賑やかです。

人口は7万人に達し、いち田舎町からバランスの取れたまちへと大きく変わりました。たくさん開発されましたが、野鳥の道や松並木なども残っており、晴れた日には富士山も見えます。経済誌などでも住みやすいまちの常連です。

ふるさとへの風だより

在京金ヶ崎人会幹事長

伊藤 優子さん

茨城県守谷市在住



東京葛飾区から移住した頃の守谷駅は古くて小さく、風情のある駅舎はどこか金ヶ崎を思い出させる風景でした。駅前も空き地があるだけで何もありません。子どもの第一声は「コンビニがない！」でした。

当時は、近所の農家から大量の野菜やつき立てのお餅を届けていただき、ずいぶんと長くしていただきました。これもこの地域のやさしさなのでしょうね。今でもお付き合いさせていただいていますが、なかでもトマトは絶品でテレビでも紹介されたほどです。

今は近代化され時代が変わったと実感していますが、金ヶ崎に住んでいると錯覚するような良さも残しているまちです。機会があればぜひ守谷にお越しください。



現在の守谷駅